

看護専門科目	臨床応用看護学					
看護学科	必修	2単位	実習	平成30年度	通期	4年次
科目名	老年看護学実習Ⅱ（健康レベルの変化に応じた看護） Gerontological Nursing Practicum II (Nursing for Health Status of Elderly people)					
担当教員	◎船瀬孝子 川喜田恵美 菊本由里 伊藤咲 吉村牧子					
目的	老年期にある対象の発達特性や健康特性をふまえて、疾病・老化がもたらす身体機能・生活過程の変化について理解し、高齢者の人権を尊重するとともに、対象の生活の質を高め、生きる力を支える看護が展開できる能力を養うことを目的とする。					
目標	1) 老年期の特徴をふまえて高齢者の多様性、個別性を理解できる。 2) 高齢者・家族と人間関係を築き、生活と健康、健康問題について理解することができる。 3) 高齢者の健康障害および生活上の問題を明確にし、看護計画を立案、実施、評価できる。 4) 保健医療福祉チームにおける看護の機能および役割を理解することができる。 5) 看護実践を通して老年看護の実際について考察することができる。					
他科目との関連	老年看護学概論、老年看護学実践論Ⅰ、老年看護学実践論Ⅱ、老年看護学実践論Ⅲ					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	レポート	実習終了時のレポート				
	記録等	日々の実習記録				
	その他	事前学習				
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	特に指定しない					
参考資料	適宜指示する					
備考 (受講上注意、事前学習等)	実習オリエンテーションは必ず受けて実習に臨むこと。 体調管理を十分に行い受講する。 病院での実習であるため、挨拶、連絡、相談は丁寧に行うこと。 学内演習の時間を活用し、実習をすすめること。					